



2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 青木 秀暢 幹事 土居 孝信 会報担当 二反田新一 永松 浩 クラブ広報委員長 梶屋 武

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1027回例会 平成23年6月9日(木)

●本日の例会プログラム ゲスト卓話「自分自身のために、大切な人のために」

中津公証役場公証人 川口秀憲先生

◎次回例会プログラム

会員卓話「新入会員卓話」

清源了胤会員



前回(1026回例会)の記録

平成23年6月2日(木)

■ゲスト

九州電力中津営業所 所長
後藤雅和氏

■出席報告

会 員 数 24名
免 除 者 数 1名
対 象 者 数 23名
本日出席者 16名
欠 席 者 数 7名
出 席 率 69.57%

■ビジター

中野登君 (中津RC)

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 4名

メイクアップ 2名

欠 席 者 2名

修正出席率 83.33%→ **91.67%**

●メイクアップ

渡邊(玖珠RC周年式典)、若松(中津中央RC)

●欠席者

土居、小路

◎ロータリーソング 奉仕の理想

◎会長の時間 会長 青木秀暢

ロータリー文庫について少しお話しします。
ロータリー文庫は、日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして、昭和45年(1970年)に設立された資料室です。ロータリー関係の文献や資料など約2万数千点が収集整備され、ロータリアンの皆さんのご利用に備えております。場所は東京都港区芝公園2丁目6番15号黒龍芝公園ビル3Fに所在します。文献資料は自由に閲覧できます。貸出しは資料を保有する場所に限定されていますが、コピーサービスは受けることができます。文献資料は各クラブ事務所備付けの「資料目録」あるいはホームページで調べることができます。デジタル化されている資料は(アクロバットリーダー)で閲覧することが出来ます。文庫の運営は、ロータリーの会員から徴収される一人当たり年間300円の資金により行われています。
気が向いたら利用されたいと思います。



◎幹事報告 長野(定) 幹事代行

●例会変更 津久見RC、宇佐2001RC

●報告事項

- ・ロータリーの友6月号届く
- ・中津RC7月例会プログラム届く



◎本日のメニュー

いなり寿司と天ぷらの
うどん定食



◎ニコニコボックス 担当:クラブ管理運営委員会

○清源会員

本日所用のため例会を早退しますので。

○青木会長

本日からクールビズと言うことで、例会出席



「地域を育み、大陸をつなぐ」 “BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS”



2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

はノーネクタイで結構です。また、本日の卓話者・九州電力中津営業所所長さんからニコニコをいただいています。ありがとうございます。

◎ゲスト卓話

「原発について」

九州電力中津営業所 所長
後藤雅和氏



本日は貴重な時間を頂きましてまことにありがとうございます。また、平素は九州電力の自業活動にご協力賜りまして、大変お世話になっております。本日は原子力発電のお話をさせていただきますが、震災での東電・福島原子力発電事故がございしますが、同じ原発を所有している会社として皆様にお詫び申し上げます。

今日の卓話は、震災前に作成した原子力発電資料と、その後に作成しました資料を付加しましてご説明いたします。

【当社原子力発電所における津波に対する緊急安全対策(報告概要)についてご説明いたします】

当社は、国の指示(3/30)「福島第一・第二原子力発電所事故を踏まえた他の発電所の緊急安全対策の実施について」に基づき、津波により、全交流電源、海水冷却機能、使用済燃料ピット冷却機能の全てを喪失したとしても、炉心の損傷や放射性物質の放出を防止し、原子炉等を冷却できるよう、以下の緊急安全対策を講じると共に、その実施状況を国へ報告致しました。今後も引き続き安全対策に迅速に取り組み、不測の事態に対しても原子力発電所の安全が確保出来るよう最大限努力してまいります。

1. 緊急安全対策の内容

(1) 緊急安全対策【実施済】

どのような場合でも「原子炉と使用済燃料ピットの継続的な冷却を行うことにより燃料の損傷を防止」する対策を実施します。

○緊急時対応のための機器及び設備の点検

非常用ディーゼル発電機等の設備点検や起動試験を行い異常の無いことを確認

○緊急時対応計画の点検及び訓練

運転操作等の手順書の充実を図ると共に、各種訓練により速やかに対応出来ることを確認

- ・全交流電源喪失時訓練、高圧発電機車の繋ぎ込み訓練
- ・給水源への水補給、使用済燃料ピットへの給水訓練
- ・移動用変電設備による外部からの所内用電源確保訓練 [4/18 予定] (当社独自)

○電源の確保【高圧発電機車の配備】

- ・中央制御室の監視機能維持等のため、高圧発電機車(500kVA)及びケーブルを配備
- ・外部からの所内用電源確保のため、移動用変電設備等による供給も可能であることを確認(当社独自対策)

○給水源への水補給【仮設ポンプ・ホース配備】

タービン動補助給水ポンプによる冷却を継続するため、

他の水源より水補給を行う仮設ポンプ及びホースを配備(補給元:ろ過水貯蔵タンク、原水タンク、貯水池等)

○使用済燃料ピットの冷却【仮設ポンプ・ホース配備】

使用済燃料ピットへ水補給できる仮設ポンプ及びホース配備(水源は②補給元)

○重要機器エリアの水密性向上【扉等の水密性向上】

タービン動補助給水ポンプエリアの入口扉等の水密性を向上し海水の浸水を防止

(2) 更なる安全対策【実施中】

上記対策に加え、更なる信頼性向上のため「全交流電源の喪失」と「海水冷却機能の喪失」を防止するための対策を実施します。

○移動式大容量発電機の配備【H24年度初め完了予定】

非常用ディーゼル発電機の代替電源として移動式大容量発電機を6台配備(1台/プラント)

○重要機器エリアの防水対策【H26年度初め完了予定】

安全上重要な機器設置エリア(海水ポンプエリア等)の防水対策を実施

○海水ポンプ等の予備品確保【H26年度(モータはH24年度)初め完了予定】

海水ポンプ及び海水ポンプモータの予備品を確保(1台/プラント)

○水源の信頼性向上対策【H26年度初め完了予定】

代替水源となる、ろ過水貯蔵タンク、原水タンク等へ地震や津波に対する補強を実施

2. 緊急安全対策のフロー

